

顔に黒い斑点 —マユタテアカネ—

秋が深まるにつれ、たくさんの赤とんぼが飛び交うようになります。鮮やかな夕焼け色をしているため赤トンボと呼ばれていますが、「アカトンボ」という種類のトンボはありません。赤トンボと呼ばれているトンボのほとんどは、「〇〇アカネ」という名前が付けられたアカネ属という仲間で、陶史の森でも数種類のアカネ属に出会えます。どのトンボも赤い体をしていますが、翅や胸部の模様に違いがあり、顔面に2つの黒い斑点がある赤トンボを「マユタテアカネ」といいます。

大きさは3～4cmぐらいで、オスは成熟すると、真っ赤なお腹になります。メスは赤くなることはありませんが、オス・メスどちらも顔面に2つの黒い眉斑<sup>ひぼん</sup>があり、眉を立てたように見えるのでこの名前が付けました。6月頃から見られ、8月から10月までが最盛期になります。卵の状態で数カ月を過ごし、幼虫期間も3～6カ月ほどで、一年一世代での世代交代を繰り返します。平地から低山地の湿地や池などで全国的に見ることができ、木立が多くて日陰が多いような薄暗い環境が好みようです。飛んでいる時は分かりにくいですが、小枝などに止まって休んでいる時に顔の眉斑を見てください。



マユタテアカネのオス



オス・メスの連結



草花のしおり作り教室を開催しました。始めにしおりの作り方について説明を聞き、しおりにする花や葉っぱを採りに行きました。その後、ネイチャーセンター内でパウチを使ってしおりを作りました。親子で相談しながらレイアウトを工夫して、きれいなしおりをたくさん作りました。

親子でしおりづくり

森の日記／7月8日(土)

教室のご案内

バードウォッチング (要申込/定員10人/雨天中止)

9月

9月24日(日) 午前9時～11時  
初秋の野鳥を観察します。

10月

10月22日(日) 午前9時～11時  
秋の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

きのご教室 (要申込)

10月1日(日) 午前9時～11時

陶史の森に生えるきのを観察します。

9時～10時 各自できのを採集

10時 ウッドイドームにて受付

小グループ判別会 (講師対応)

11時 解散

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。